

■■■ 福祉社会学会ニューズレター 第 26 号 ■■■
Japan Welfare Sociology Association Newsletter No.26

<http://jws-assoc.jp/>
E-mail: ws@univcoop.or.jp

***** INDEX *****

- 福祉社会学会・第10回大会 テーマセッションのテーマとコーディネーターの募集について
- 福祉社会学会・第10回大会 自由報告の募集について
- 福祉社会学会・研究会のご案内
- 会費値上げ延期の試み
- 理事会報告
- 新入会員など紹介
- 事務局からのお知らせとお願い

■福祉社会学会・第10回大会 テーマセッションのテーマとコーディネーターの募集について

福祉社会学会・第10回大会（2012年、開催校＝東北大学）では、前回大会に続き、テーマセッションを公募することとなりました。テーマセッションにおいては、一般性の高いテーマを扱うシンポジウムとは異なり、コーディネーターの方を中心に福祉社会学における特定のテーマを多様な角度から議論していただきます。このテーマセッションのテーマとコーディネーターを下記の要領で募集します。大会は6月2日（土）・3日（日）、東北大学川内キャンパス（仙台市青葉区川内27-1）にて開催される予定です。なお、部会編成の都合上、発表日時のご希望には応じかねますのでご了解ください。

- ① テーマセッションは、今号ニューズレターでテーマとコーディネーターを募集し、採択されたテーマについて2月下旬発行予定のニューズレターで報告者の募集を行い、コーディネーターの調整によって報告者を決定して設置されるものです。調整の結果不採択となった場合や、部会が成立しなかった場合も、報告希望者は大会の他の自由報告部会で報告していただくことができます。
- ② コーディネーターには、報告者・報告順の決定に加え、当日の司会を行なっていただきます。テーマ採択の決定、報告者の募集などについて2月下旬にお知らせします。テーマセッション報告の応募の締めきりは3月24日（土）の予定です。
- ③ コーディネーター希望の方は、下記の事項を電子メールで、2月18日（土）までに、担当研究委員・三井さよ（法政大学）・菊地英明（武蔵大学）・土屋葉（愛知大学）まで以下の様式とともにご連絡ください。

●テーマセッション・コーディネーターの申込み事項

- ◆氏名
- ◆所属
- ◆連絡先（住所・電話番号・電子メールアドレス）
- ◆テーマ（そのまま部会名となります）
- ◆部会趣旨（800字程度。採択された場合は、報告者募集のニューズレターに報告者募集用原稿としてそのまま掲載されます。）

電子メールあて先：担当研究委員・三井さよ（法政大学）・菊地英明（武蔵大学）・土屋葉（愛知大学）
jwsa2012@yahogroups.jp

※テーマセッション申し込みをされた方に対しては、受理通知を電子メールで返信しますので、2月23

日（木）までに返信がない場合は、上記のメールアドレス、または三井のメールアドレス（s-mitsui@hosei.ac.jp）あるいは三井の研究室（042-783-2373／直通）までご連絡ください。

■福祉社会学会・第10回大会 自由報告の募集について

先に申し上げたとおり、第10回大会は6月2日（土）・3日（日）に東北大学で開催されますが、例年通り自由報告を募集します。本大会における自由報告の申し込みは、2月下旬に発行する学会ニューズレターにて説明を行い正式に募集いたしますが、申込書の提出締め切りが3月24日（土）、予稿集の締め切りが4月7日（土）の予定です。なお、申し込みは電子メールのみの受け付けとなりますので、あらかじめご了解ください。また、電子メールでニューズレター配信を受けておられる会員の方々には、2月下旬に発行する学会ニューズレターは通常どおりメール配信のみとなります（郵送されません）。自由報告申し込みを検討される場合は、この時期のメールおよび本学会のWEBページに掲載される大会WEBページ（2月下旬に更新予定）にご注意いただき、締め切りなどのお見落としのないようお願いいたします。学会WEBページのURLは次の通りです。 <http://jws-assoc.jp/>

■福祉社会学会・研究会のご案内

福祉社会学会の主催または共催による研究会が2012年2月から3月にかけて4回予定されています。奮ってご参加ください。詳細は学会ホームページ（<http://jws-assoc.jp/>）、または電子メールで配信されますニューズレター号外をご参照ください。

■会費値上げ延期の試み

福祉社会学会会員のみなさま

2011年12月18日に開催されました理事会において、2011年度の会計実績を踏まえ会費値上げについての延期を提案し、賛同を得ました。みなさまからのご協力を得て、会費値上げの延期を再度みなさまに提案することができますことをうれしく思います。つきましては、会費値上げをもう1年延期することをお認めいただきたくお願い申し上げます。以上、どうぞよろしくご検討のほどお願いいたします。

福祉社会学会会長 武川正吾

■学会賞選考委員会より

このたび理事会にて学会賞選考委員会を以下の通り構成することが承認されましたのでここにご報告いたします。

委員長 野口裕二（東京学芸大学）
委員 岡部耕典（早稲田大学）
木下康仁（立教大学）
下平好博（明星大学）
中田知生（北星学園大学）

■理事会報告

●福祉社会学会・2011年度・第2回理事会 議事録

日時 2011年12月18日（日） 13時30分～17時15分

場所 上智大学 2 号館 1530b

出席者：安立、天田、岡部、株本、鎮目、下夷、武川、田渕、中田、野口、平岡、藤村、三重野（委任状）、三井（委任状）

●報告事項・審議事項

1. 第 10 回大会開催校の下夷理事より、大会は 2012 年 6 月 2 日（土）・3 日（日）に東北大学川内キャンパスで開催予定であることが報告され、大会運営に関連して以下の事項を協議・承認した。①送付するプログラムは従来のもよりも簡略化したものとし、詳細なプログラムは事前に学会ホームページから PDF で閲覧できるようにする。②プログラム送付は事務局予算から支出するものとする。
2. 天田研究委員長より第 10 回大会の準備状況、研究会開催の状況について報告があった。大会シンポジウムについては東日本大震災をテーマとして報告者等の人選を進めていること、研究会は 2012 年 2・3 月に 3～4 回開催予定であることが報告された。
3. 安立編集委員長より以下の報告・説明がなされ、審議が行われた。
 - ①学会誌 9 号は、特集テーマは「東日本大震災と福祉社会学の課題」で、4 本の論文の入稿があり、順調に編集がすすんでいる。投稿論文については、4 本の投稿があり査読中である。1 月末の入稿を目標に編集作業中であること等の説明がなされた。
 - ②学会誌の投稿規程ならびに執筆要領について、書評の分量を 4000 字から 4500 字以内とすること、福祉社会学倫理綱領を踏まえることを明記することの 2 点について変更する改正案が提案され、承認された。
4. 野口学会賞選考委員長より、委員の選出をめぐる論点が提起され意見を交換した。研究委員会から中田理事、編集委員会から岡部理事を選考委員とすること、分野のバランスを考慮してそれ以外の候補を 3 名選出し打診することを承認した。
5. 田渕庶務理事より事務局報告がなされた。①第 9 回大会（開催校：首都大学）の会計報告が承認された。②東日本大震災にかかる会員活動の調査が実施され、10 名以上の会員から回答が寄せられたことが報告された。③学会ホームページが国立情報学研究所から国際文献印刷社のサーバに移転されたことが報告された。
6. 社会学系コンソーシアム評議員の下夷理事より、1 月 22 日午前開催予定の評議員会にて理事選挙が行われること、同日午後にコンソーシアムのシンポジウムが開催予定であることが報告された。また、社会学系コンソーシアムに参加する学協会が共同で作成する「世界へのメッセージ」について報告があり、本学会としての対応について協議した結果、10 周年記念事業担当の三重野理事に対応いただくことを決定した。
7. 社会政策関連学会協議会担当の平岡理事より、7 月と 10 月に協議会が開催され、2 月に研究会が開催予定であることが報告された。
8. 10 周年記念事業について、同事業担当の三重野理事作成の資料を田渕庶務理事が代読し、具体的な出版企画をもとに出版社との交渉が進められていることが報告され、意見が交換された。
9. 『福祉社会学研究』の電子化について、田渕庶務理事より、8 月に独立行政法人科学技術振興機構の電子アーカイブ化事業対象誌に 2008 年までの号が採用され、公開のために対象となる論文の著者に対して複製権、公衆送信権委譲の依頼を行ったことなどが報告された。著作権問題への対応のため、依頼論文については今後は依頼する時点で編集委員会から著者に複製権、公衆送信権委譲の依頼を行うことを確認した。2009 年以降の号は今後 J-Stage で継続して公開予定とすること、刊行から公開までの期間は当面 2 年前後とするが、今後継続して協議することを決定した。
10. 新規入会者の承認と退会希望者の確認が行われた。
11. 庶務理事より学会の会計状況が説明され、それを踏まえて会費値上げを 2012 年度についても据え置くことが提案され、承認された。学会会計の健全化に向けて検討すべき点にかんして意見が交換された。
12. 第 11 回大会の開催候補校が検討され、立命館大学を候補として、天田理事、鎮目理事に今後検

討を依頼することが承認された。

- 1 3. 庶務理事より、学会誌編集や大会関連の事務等も含めた学会事務負担の軽減に向けて事務外注のあり方の検討が求められていることが報告され、会計負担を視野に入れながら今後継続して協議することを承認した。関連して、事務局業務の軽減を図るため学会メルマガの配信スタンドの利用を契約することを承認した。
- 1 4. 次回理事会を 2012 年 6 月 2 日午前、東北大学にて開催することを決定した。

■新入会員など紹介

(WEB 版では省略しています)

■事務局からのお知らせとお願い

- 学会ホームページのアドレスが変更されました。新しいURLは <http://jws-assoc.jp/> となります。
- 理事会議事録にもごじます通り、このたび科学技術振興機構より「福祉社会学研究」が創刊号以降 2008年までの全号を電子化してアーカイブされる対象誌として選定されました。このため、該当する号の対象となる論文の著者の皆様に電子アーカイブ化に伴う著作権委譲（複製権及び公衆送信権の委譲）に関するお願いを書面にてお送りしております。本件にかんするお問い合わせは学会事務局までお寄せください。ご協力のほどよろしくお願いいたします。
- 2011年10月に会員の皆様を対象に、電子メールにて東日本大震災への取り組みにかかる会員調査を実施いたしました。ご協力いただきました皆様には御礼申しあげます。結果は近く学会ホームページなどを通じて公開させていただく予定です。情報は今後も受け付けておりますので、震災関係の調査研究などについて情報がございましたら事務局までお寄せください。
- 住所変更やEmail のアドレスを変更した場合は、必ず大学生協・学会支援センター・福祉社会学会担当（学会のメールアドレス）までお知らせください（メールアドレス ws@univcoop.or.jp）。年度末に毎回十数通の不着が発生します。周辺でNewsletter を受信できていない方がいる場合は学会アドレスまでご連絡くださいますようお願いいたします。

【発行・編集】 福祉社会学会事務局